

横芝町の人口と世帯
(6月1日現在)
人口 14,261 (+20)
男 6,977 (+18)
女 7,284 (+2)
世帯数 3,716 (+8)
()内は前月比



広報

横芝

7月号

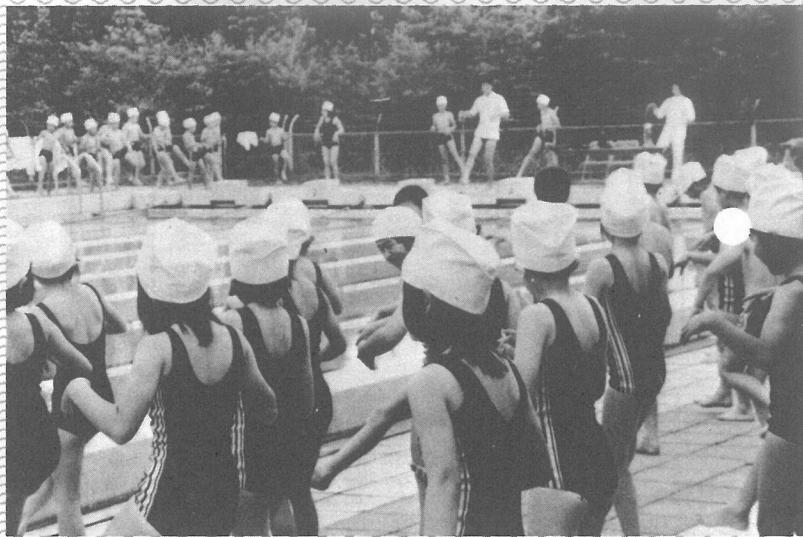
発行所

千葉県山武郡横芝町横芝636番地

横芝町役場

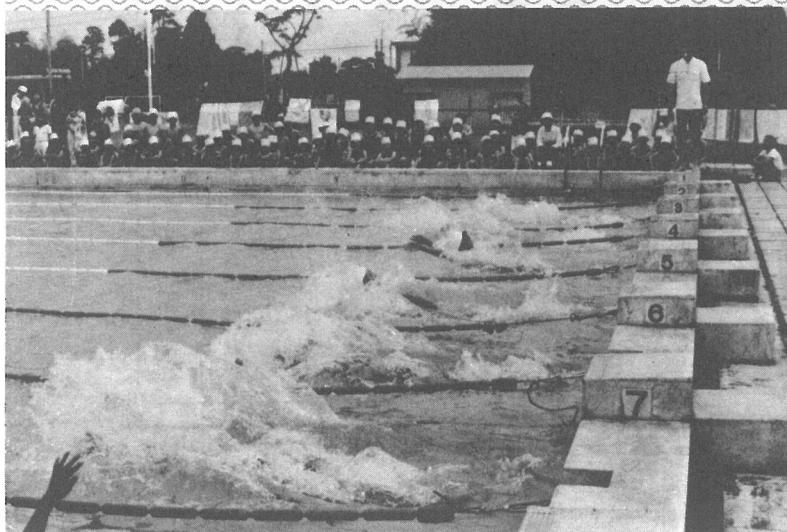
電話 04798-2-1111(代)

郵便番号 289-117



6月17日に上堺小学校で行われたプール開き。

全校生徒 220人余りが参加、うっとうしい梅雨空をふきとばしました。



六月定例議会

新議長に

杉森才二さん選任



町議会六月定例会は、六月五日から九日まで、五日間の会期で開かれました。

この定例会には、一般会計補正予算や税条例の一部改正など七議案と、繰越明許費の計算報告が提出されました。

このほか正・副議長、各常任委員会委員が改選され、新しい議長に杉森才二さん（本町）、副議長に怒賀源也さん（中台）が、それぞれ満場一致で選任されました。

提出された議案と、各常任委員の方たちは次のとおりです。

議案第一号 専決処分の承認を

求めることについて

地方税法の改正によって、五十一年度の軽自動車税の月割課税を廃止、法人均等割に関する条文の字句整理を行いました。

▼議案第二号 専決処分の承認を

求めることについて

五十六年度の国民健康保険税の課税額と、減額の改正を行いました。

六年度の軽自動車税の月割課税を廃止、法人均等割に関する条文の字句整理を行いました。

▼議案第三号 専決処分の承認を

求めることについて

知事選挙執行の五十六年度分必要経費百三十二万一千円を、一般会計予算に計上しました。

▼議案第四号 税条例の一部を改正する条例制定について

地方税法の改正によって、五十六年度の法人町民税と、特別土地保有税取得分の税率改正を行いました。

▲議案第五号 五十六年度一般会

会では、提出議案がすべて原案どおり可決されました。



就任のごあいさつ

町議会議長 杉森才二

改革、財政再建と、行財政の健全化についている折でもあります。また、地方自治体にしても同様のこととが言われております。

この大切な時だけに、議会としての対応もむずかしいものがあります。そこで、うかと考えられます。その中で、横芝町の明るく住みよい町づくりを推進して参りたいと存じます。

町民の皆様はもとより、先輩諸兄、議会議員各位の暖かいご支援とご協力を切にお願い申し上げます。就任のごあいさつといたし

訪れました初夏の候、町民の皆様にはお元気でお過ごしのこととおよろこび申し上げます。

私は皆様ご承知の通り、議員としての経験も浅く、そのうえ浅学非才、その器ではございませんが、今までして、議会議員の皆様のご推

今後も円満なる議会の運営と、限りない町の発展を常に念頭に置きながら、議会と執行部が車の両輪のごとく進み、より良い地方自治の確立がなされますよう誠意を以て努力する所存でございます。

怒賀副議長ともども、よろしくご指導くださいますようお願い申し上げます。

さて、昨今は地方の時代と言われておりますが、國に於ては行政

計補正予算議定について

寄付金、繰越金を財源として、農村広場の維持管理経費と、上塙小学校備品購入費などについて補正し、歳入歳出予算の総額に百二十七万九千円を追加、総額で十九億三千二百六十万円としました。

▼議案第六号 監査委員の選任につき同意を求めるについて

六月二十四日付で任期満了となつた鈴木寛氏が、横芝町監査委員として引き続き選任されました。

▼議案第七号 国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

五十五年度一般会計補正予算で設定した繰越明許費について、その繰越計算書を五月三十一日現在で調整、報告しました。

▼議案第八号 土屋英夫伊藤博

産業・建設常任委員会

行木光一怒賀源也

桜井敏雄布施岩雄

大木信夫越川浩一

川島五郎杉森才二

民生・文教常任委員会

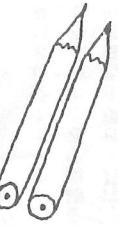
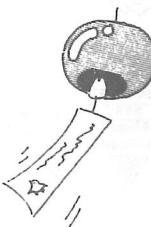
○印は副委員長
(敬称略)

○今関伊三夫伊藤裕之
○田子一雄平山敬止
土屋英夫伊藤博

○行木光一怒賀源也
○桜井敏雄布施岩雄

○大木信夫越川浩一
○川島英夫鈴木繁

○印は委員長
○印は副委員長



防ごう非行

助けよう立ち直り



「社会を明るくする運動」始まる

第三十回 社会を明るくする
運動が、七月一日から一ヶ月間
法務省の主唱により、全国で行わ
れます。

この運動は、犯罪の防止と罪を犯した人たちの更生について国民すべてが力を合わせ、明るい社会を築くことを目的として行われています。

でかけに、その後運動の輪かさだいに広がり、今日まで全国各地で地道に続けられてきました。

最近の少年非行は増加の一途をたどり、学校内や家庭内暴力など非行の低年齢化が進んでいます。とくに夏休みは、学校生活から解放されて、非行への芽生えが始まる季節です。警察庁の調査によると、十四歳から十六歳までの年齢層が、少年非行の実に六割を占めています。

なかでも女子の非行が急増しており、増加率では男子のほぼ二倍という高い数字を示しているのです。

そこで、今年の運動の重点目標は「住民の連帯による青少年の非行防止と更生の援助」に置かれました。

金魚飼養者は汲み置きを
水の消毒さらに厳しく！

水についてのお問い合わせは、
山武郡市広域水道企業団（一〇四
七五五一—一〇五二一）までお
願いします。

PTAや青年団などの、地域の人びとを主体とする活動を組織的に行い、犯罪のない明るい社会をみんなの力で築きましょう。

更生を助け る保護司

これから夏に向かって、食中毒や伝染病などが発生しやすい季節となります。

山武水道では、これらを未然に防止し、より安全な水をお届けするために、普段より塩素そ
う入量を多くするとともに、消
入れ換えをするよう、お願ひいた
す。

金魚、淡水魚などを飼っている
お宅では、たらいやバケツに汲み置きをし、塩素除去（二十四時間以上戸外に放置）をしてから水の

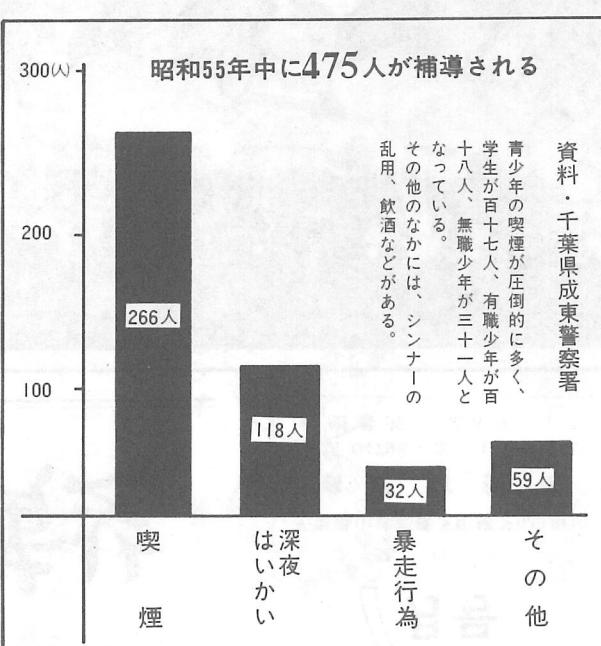


資料・千葉県成東警察署

青少年の喫煙が圧倒的に多く
学生が百十七人、有職少年が

学生が百一十九人、有職少女が十八人、無職少年が三十一人

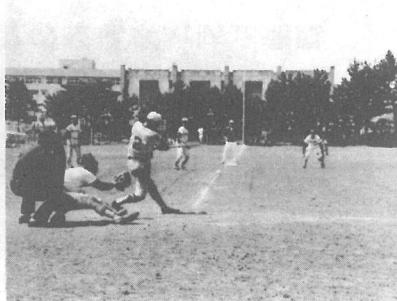
その他のなかには、シンナー乱用、飲酒などがある。



昭和五十五年に成東警察署管内で補導された青少年は、四百七十五人、前年にくらべて二十四パーセントの増加をみせて います。犯罪者や非行少年の相談相手と

**火災現場を知る時は
04757-3-3500**

電話が使用できなくなりますので、
役場への問い合わせはおさけください



第七回横芝町近隣中学校招待野球大会は、敬愛高校野球場を主会場に、山武、海匝、銚子地区から

横中準優勝で飾る

中学校招待野球大会

十六校が参加して熱戦を開催しました。

昨年は銚子一中が優勝、八日市

場一中が準優勝しておりますが、
今年は、山武郡の大会で優勝した

横芝中学校が優勝候補に上げられ

ていました。

予想通り横芝中学校は一回戦、
二回戦と順調に勝ち進み、決勝戦

では銚子五中と対戦しました。

試合は、横芝中学校が一回の表

に二点を先取して好調なすべり出

▲準優勝に輝いた横中の攻撃

しを見せる、銚子五中もその裏に二点を返しました。その後は、
できないまま九回まで進み、本大
会初の延長戦へと持ち込まれまし
た。十一回の裏、銚子五中がヒツ
ト一本を放ち、貴重な一点を上げ
ゲームを終了、横芝中学校は、惜
しくも準優勝となりました。

横芝中学校の対戦成績は次のと
おりです。

○対銚子一中	二対一
○対九十九里中	六対二
○対旭二中	二対一
○対銚子五中	二対三



梅雨空をふきとばす

プール開き

大総小学校で五月二十九日にプ
ール開きが行われました。

これを皮切りに、六月十七日に
上堀小学校で、六月二十二日に横
芝小学校で、プール開きが行わ
れました。

各校とも、前日からのぐずつ
いた天候のなかでプール開きが行わ
れましたが、幸いにも大総・上堀
両校では、子どもたちがプールに
入るころには雲間から太陽が顔を
出し、元気に泳ぎ回る姿を見守る
かのようでした。

母子年金などの年金額が増額され、9
月の支払い時に、7月分からの増額さ
れた年金が受けられます。

また、通算老齢年金も同様に、12月
の支払い時から増額年金が受けられま
す。

福祉年金は、8月から本人所得によ
る支給制限が緩和されたほか、特に老
齢福祉年金については、扶養義務者の
所得に応じて2通りの年金額に改め、
同時に引き上げが行われました。

福祉年金の支払いは、11月に、8月
分からの増額年金が受けられます。

免除申請は

今月中です

福祉年金の改正(昭和56年8月実施)

項 目	改 正 前	改 正 後
老齢福祉年金 扶養義務者収入(6人世帯)	(年額)	(年額)
○600万円以下	270,000円	288,000円
○600万円~876万円以下	270,000円	276,000円
障害福祉年金 ○1級	405,600円	432,000円
○2級	270,000円	288,000円
公的年金との併給制限	45万円	48万円

今年の4月分から、来年3月までの
保険料についての免税を受けたい方は、
今月中に申請の手続きを行ってください。

昨年度に引き続き免除を受ける方も、
改めて申請してください。

保険料も納めず、免除も受けないで
そのままにしておくと、将来の老齢年
金や万一の事故のとき、障害年金や母
子年金などが受けられなくなります。

手続きやお問い合わせは、役場年金
係(2-1111内線41)までどうぞ。



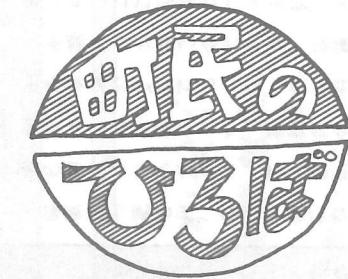
趣味で始めた

くま手づくり

伊藤 敬一さん（新青）

「自宅に竹があるので、これを
使って何かできないかと考え、十
年ぐらい前からしょいがごや小さ
いざるなどを作るようになつたん
ですよ」と語る伊藤さん。

しょいがは、バントムの収穫



皆さん日常生活の中で、いろいろな出来事、生活上の知恵などありましたら、何でも結構です。役場内広報係（☎②1115）までご連絡ください。
また、記事中に掲載されている写真をご希望の方、お譲りします。



にとても便利だそうです。くま手を作るようになったのは今から三年ぐらい前で、一年に約三十丁、今までに百丁ほど作つたそうです。

「今、作つているのは、もうそく竹を使つていてるんですが、ほんとは真竹——、それも太いものほどいいですね、竹をさいて細くした時に曲がりが少ないですから」と

話しながらも、手は休むことなく

竹をさき、くま手を作り上げてい

く。「今までの先の曲がつている

所がありますが、そこを曲げるの

が一番むずかしいですね。生の竹

だとすぐに曲がるんですが、使つ

ているうちにすぐのびてしまふ、

また、乾いた竹ではなかなか曲が

てくれない。その部分の竹の厚さも影響しますね」と気軽に話してくれる伊藤さんは、明治四十一生まれで七十三歳、町国民年金普及指導員としても活躍されます。作つたくま手は、近所の方がたに利用していただいているそうです。

9月1日 六都県市 合同防災訓練

横芝町においても、学校や保育所、役場等で地震を想定した防災訓練が実施される予定です。

7月22日～8月31日
夏休みに増える赤信号
子供を見たら要注意
夏の交通事故防止運動

横芝の碑

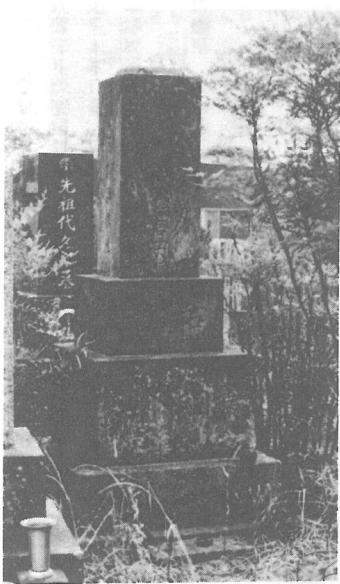
(その一〇二)

横芝に建つてゐるー

第十七代横綱小錦八十吉の墓石

第十七代横綱小錦八十吉が横芝町出身であることを存知でも、その墓石が横芝町に建つてゐることを案外知られていません。

小錦は、俗に上町と言われている岩井家から、東京の藤本家に養子に入つて、その遺骨が分骨されて、東京と横芝の二か所に墓石が建つてゐています。



二代目小錦が建てたといふ
小錦八十吉の墓石。

で推されるほどでした。

その弥市の長男で八十吉、これが父によく似て幼い時から丸々と太り、腕力も勝っていました。それだけに力業が大好きで、近所の子供達と相撲や組み打ちなどをやつて遊んでも、一度も負けたことがありませんでした。また、よく父に連れられて宮相撲見物に出かけました。

十二、三歳になると、おとな達と相撲を取ることがありました。三度に一度はおとなを負かすほど強くなりました。そうした様子を終始眺めていた弥市は「どうだ八

十吉、お前本当の相撲取りになるか」と尋ねました。「うん、なりたい」と二つ返事でうれしそうに答えた姿に「よし、家業は次男の清吉に継がせて、八十吉には力士修業をさせて見よう」と決心しました。伝手を求めて、八十吉を伴つて東金出身の、初代高砂浦五郎の門を叩き、懇願の末、目出度く入門を許されました。慶應三年生まれの八十吉が、十四歳の春を迎えた明治十三年のことでした。

好んで入った道でしたが、一番違うと虫けら」と言われた相撲の新弟子修業は殊の外厳しく、特に八十吉は入門一年余りで、脚氣に罹り、一時不本意な帰郷とう不幸に見舞われながらも、稽古に次ぐ稽古。忍耐と勤勉、そして、先輩や親方の教えを忠実に守る素直さは、間もなく番付に表われてきました。



江戸っ子の血を湧かせ、錦絵にまでなった。

も卓越して、明治二十九年（一八九六）三月、相撲界の「日の下開山」第十七代横綱を允許されました。

横綱在位四か年、明治三十三年の夏場所を限りに引退して、年寄二十山を襲名、相撲協会取締役や検査役などを歴任、その後、弟子の養成に努めました。その円満な人柄は、関係者の誰からも信望されていました。大正三年、相撲の講演旅行中に四十九歳の若さで病歿しました。戒名は、震天揚威武徹居士。

写真は、岩井家の墓所に二代目小錦が、初代小錦（八十吉）の意志を体して建てたという、横綱小錦の墓石で、正面には戒名が、上の台座には岩井、下の台座には、横綱小錦と刻まれています。そして裏面には、山形県西山郡三泉村、二代目小錦後藤鶴松之建等と刻まれています。（□の所は判読不能文字）

この墓所は、周辺に他家の墓所もありますので、あえて案内図を省略しました。見学等の場合には、役場広報係、または、筆者（電話二一〇七六二）にご連絡をお願いいたします。（写真の錦絵は、故押尾喜世治氏＝元文化財審議会委員から頂いたものです）

町文化財審議会委員

小沢春光氏寄稿

